

しめ縄もいろいろ

皆さんの家では玄関にしめ縄を飾っていますか。そのしめ縄は一年中飾られていますか？実は、一年中しめ縄を玄関に飾る風習は全国的には珍しく、三重県の中でも松阪市より南のエリアに限られていて、旅行で訪れた方が見ると不思議に思うそうです。

しめ縄の形にもいろいろな違いがあります。松阪市周辺に多い「松阪しめ縄」と伊勢市周辺に多いものがあります。明和町では二つの市と隣り合わせなので、どちらのタイプも混ざっていていろいろな形を見ることができます。

伊勢市周辺に多いしめ縄には「蘇民将来子孫之門」や「笑門」と記された木札がつけられています。これは、次のような言い伝えが関連しているとされています。

スサノオノミコトが、南方の海への旅の途中に、蘇民将来・巨旦将来という名前の二人の兄弟のいる地に立ち寄りました。スサノオノミコトは一晚泊めてくれるよう二人に頼みました。弟の巨旦はとても裕福だったのですが、断りました。兄の蘇民は貧しかったのですが、親切に泊めてあげました。

スサノオノミコトは喜び、蘇民に「今後、この地に悪い病気が流行ったときには、蘇民将来の子孫であると言い、茅輪を腰に着けなさい。そうすれば病気を免がれるでしょう」と言って、その地を立ち去りました。蘇民は、スサノオノミコトの言葉に従ったところ、悪い病気が流行っても家族が健康に過ごせたそうです。

しめ縄には家族の健康への願いが込められています。自分の家では、どんなタイプのしめ縄なのか確認してみてね。



伊勢型

大根のように太く三つ編みで左縄にし、前垂まえだれを付けて中心部を作るのが特徴。飾りとして、ウラジロ、ユズリハ、エセビ、ダイダイ、また和紙を長方形に切りシデとして下げました。こうした飾りには色々な意味が込められています



松阪しめ縄

かぶと
兜のように角があり、扇を逆さにしたような末広りの垂れが特徴

三重県総合博物館提供

明和町で見られる様々なしめ縄



松阪しめ縄 (金剛坂)



松阪しめ縄 (金剛坂)

やちまたひこのかみ やちまたひめのかみ くながみ
「八衛比古神・八衛比女神・久那戸神」の木札
が付いたしめ縄 (竹川)



家族に不幸があるまで、毎年取り替えずに重ねられるしめ縄 (上村)



「笑門」の木札が付いたしめ縄 (西出)



門に取り付けられたしめ縄 (西出)

キーワード：風習、しめ縄